

梅園周の取組み

一部ご紹介 8年間の実績



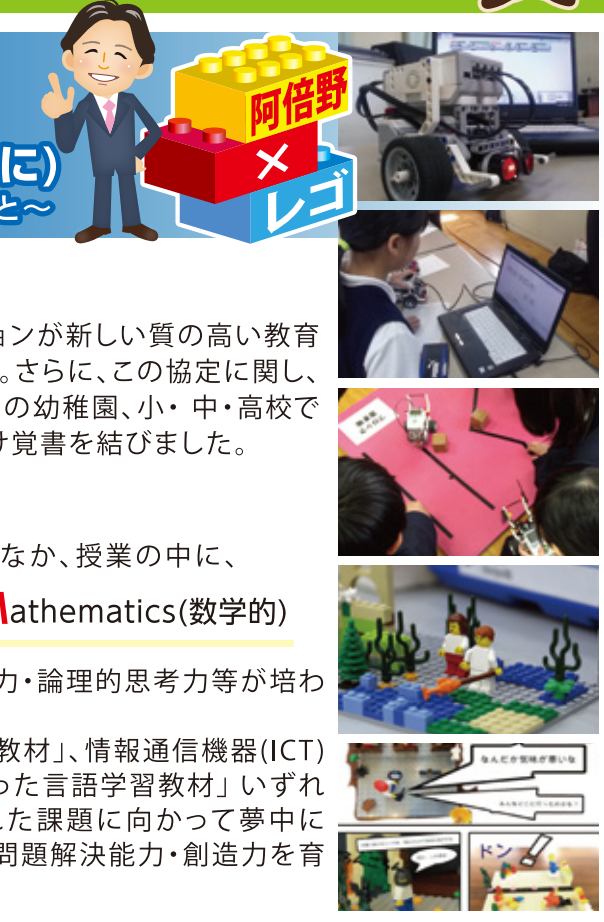
民間企業の教育手法を取り入れた実践型 ICT 教育
阿倍野区版 STEM 教育スタート!!(全国初)
阿倍野区から世界へ!!(日本のモノづくりの礎に)
 ~これからの時代をたくましく生きる子供たちのためにできること~

【施策内容】
 阿倍野区と世界的玩具メーカーレゴジャパン株式会社レゴエデュケーションが新しい質の高い教育実現に向けた包括協定を2014年に締結しました(行政区としては全国初)。さらに、この協定に関し、この2者に加え大阪教育大学科学教育センターと阿倍野区内の大阪市立の幼稚園、小・中・高校で構成する阿倍野区公立学校新教材活用研究会が連携推進の取組みに向け覚書を結びました。

【具体的な取組み】
 日本の子ども達の数学及び科学の活用能力の低さが問題視されているなか、授業の中に、**S**ience(科学的)、**T**echnology(技術的)、**E**ngineering(工学的)、**M**athematics(数学的)

の要素を取り入れることで、創造力・観察力・表現力・プレゼンテーション力・論理的思考力等が生まれ、知的好奇心・探究心を喚起し、日頃の学習効果の向上が期待できます。具体的な教材としては、STEM 知識を体験的に習得できる「ロボティクス教材」、情報通信機器(ICT)を活用した言語能力をはじめ思考力・表現力を磨く「タブレット端末を使った言語学習教材」いずれも「手を動かし、つくりながら学ぶ」というこれらの教材を使い、与えられた課題に向かって夢中になって取り組む中で、様々なスキルが身に付き、協同学習や自己表現力・問題解決能力・創造力を育みます。

【施策への想い】
 今後更なる、人材のグローバル化が重要視されている中、産業界において理数系の能力・及び英語力がより必要になってきます。全国初としての阿倍野区の取組みが、国際的な人材の育成に繋がり、また、阿倍野区の国際化推進に寄与し、これからの日本の「物作り」の礎になることを期待します。



LEGO, the LEGO logo and MINDSTORMS are trademarks of LEGO Group. ©2014 The LEGO Group.

LGBT に関する支援施策の推進
私の質疑が新聞等にも取り上げられましたが、大阪市会史上初日に、LGBT に関する質疑を行い、施策推進の要望を行い、「大阪市パートナーシップ宣誓証明制度」に向け言及を行いました

【施策内容】
 LGBT、いわゆる性的少数者に配慮した取組みについて、以前から課題認識を持ち、2016年から、関係各局と議論していた内容です。質疑する機会がなかなか持てず、ようやく2017年・財政総務委員会にて、LGBTに関しては大阪市会史上初日に質疑をさせて頂きました。大阪市として、積極的に取組む様に、強く要望させて頂きました。

【具体的な取組み】
 2018年7月9日より、「大阪市パートナーシップ宣誓証明制度」が施行されることとなりました。

【施策への想い】
 大阪市が率先して、性の多様性を受容し、個性を認め合い、共に生きる・共生社会の形成へと、更にすすむ事になればと思います。

※LGBTとは、Lesbian(レズビアン、女性同性愛者)、Gay(ゲイ、男性同性愛者)、Bisexual(バイセクシュアル、両性愛者)、Transgender(トランスジェンダー、性別越境者)の頭文字をとった単語で、セクシュアル・マイノリティ(性的少数者)の総称のひとつです。

皆様から議会に送り出していただき丸8年が経とうとしております。この8年間、様々なことがあり、時が瞬く間に過ぎました。地域に根付いた議員を志し、皆様から多くのご意見・アイデアを頂き、様々な形で実現させて頂きました。今回、その一部ではございますが、私が携わらせて頂きました内容をご紹介させて頂きます。他にも様々な形で現在進行しております。特に、防災対策は地域の皆様が危惧する1つだと思いますが、民間企業と協力し、大阪市にも取り入れてもらうように働きかけています。これからも、地域の皆様が安全・安心して暮らしやすい街として、皆様と共に取り組んでまいりたい所存です。地域のため、阿倍野区のため、大阪市のため、初心を忘れず全力で邁進していきます。

阪南地域防災活動拠点の整備
「阪南公設市場跡地」が、地域防災活動拠点(一時避難場所)となる「阪南播磨公園」として整備されました
 ~2018年4月1日、【阪南播磨公園】竣工記念式典が行われました~

【施策内容】
 2014年11月、橋下前市長の該当地売却方針から一転、「防災公園として位置付けた整備の方向に」と表明し、その方針を次期市長に踏襲し、『阿倍野区防災空間整備事業』として事業化されることが確定しました。その結果、2018年4月1日、阪南地域の住民の皆様2,676名分の署名活動により声が届き要望通り、「阪南公設市場跡地」が、地域防災活動拠点(一時避難場所)となる「阪南播磨公園」として整備されました。今後は住民の皆様と市・区・消防局を含めた関係各局とが協議し、災害時には一時避難所として、また、日頃は地域防災活動や地域活動の場としても使える防災公園として機能します。

【具体的な取組み】
 これまで、大阪市は財政状況を鑑み該当地を売却する方針でした。しかし、「地域のことは地域で考え、責任を持つ」という住民自治の姿が署名活動を通して垣間見られ、改めて行政判断を再検討したからだと思われます。実際に、阪南地域の住民数において想定される被災者数は、現状の防災拠点だけでは対応できません。さらに、南部地域には高齢者が多く、万一の場合、南港通を横断しなければならず、指定避難場所への誘導や補助には人手が足りない状況が想定されます。具体的に、一時避難所の誘致圏域を250mと設定すると、周辺の指定避難場所・一時避難所からの250m範囲では、「阪南公設市場跡地」付近は空白地となります。今回この事業でその空白は解消されます。私自身も防災面の地域実情を踏まえると、皆さんと同じくその必要性を感じ、阪南地域の住民の皆様2,676名分の署名と共に要望書を市長へ提出しました。

【施策への想い】
 今回は、地域の皆様の想いや後押しがあったからこそこの事業であり、何より住民自治の象徴だとも感じております。式典においては、光栄にも代表して挨拶をさせて頂きましたが、個人的に思い入れが強い事もあり、阪南地域の方々の防災拠点であり、地域に愛される公園として、今後地域と共に、時を刻んでいって欲しいと思います。「自分たちの住む地域の課題・問題を住民同士で話し合い、物事が決まるまでの過程を理解し合うこと。」「決めたことは責任をもって行動し、住民同士、お互いを支え合い、助け合うということ。」「自らできることをできる範囲で行い、その補助・支援を行政がするということ。」これこそ「住民自治」の本質ではないでしょうか。自助・共助・公助が大切な現在、政治家に求められるひとつにはその橋渡しの役割であり、常に住民の皆様身近な政治家でありたいと改めて感じました。

美章園駅前『道路予定地』の駐輪場への有効活用
期間限定ではあるものの、放置自転車対策の一環として、約130台分を設置する事により、通行者の安全を確保

【施策内容】
 地域の方から要望を受け、必要性を感じ、私からも要望させて頂き、美章園駅付近・美章園地域にあります『道路予定地』の活用として、約130台分の駐輪場を設置する事になりました。

【具体的な取組み】
 美章園駅周辺は、駐輪場があるものの、台数が足りてない現状で、道路に溢れていました。車椅子の方が通りにくい、通行者の事故にも繋がる状況でした。今回、期間限定ではあるものの、道路整備までの期間の有効活用にもなります。なにより、約130台分を設置する事により、通行者の安全を守れればと思います。

【施策への想い】
 今回は期間限定ではあるものの、放置自転車対策の一環として、通行者の安全・事故防止、地域景観の美化、余裕ある駐輪スペースの確保等を目指し、地域の声・想いを実現する為、今後も有言実行で、頑張ってまいりたいと思います。



大阪市が指定する災害時避難所(阪南連合地域)	一時避難可能人員	収容避難可能人員	国勢調査による人口・世帯数(阪南連合地域 H22.10.1時点)
収容避難所 阪南小学校	4,800人	1,040人	人口 12,297人
一時避難所 播磨大領公園	2,200人		世帯数 5,590世帯
	3,100人		

【概要】
 所在地:阿倍野区阪南町6丁目3番
 地番表示:阿倍野区阪南町6丁目6
 面積:1067.81㎡

